

第十三回汗青会公開セミナー

R6.3.16
中日新聞

大垣北高歴史同好会 OBが公開セミナー

あす

大垣北高校の歴史同好会OBらでつくる「汗青会」は17日、同好会を立ち上げた社会科学教諭の故稲川誠一さんの考え方を学ぶセミナーを大垣市サイトピアセンターで開く。参加無料。

稲川さんは1957年から23年間同校に勤務し、日本史や世界史を教え、歴史同好会を発足させた。85年に亡くなってからは、教えを受け継いだ有志が命日に稲川さんの自宅で集いを続けてきた。2011年から集いを一般公開し、著書や論文などを基に教育の在り方や歴史の見方を学んでいる。

セミナーでは、汗青会員で市文化連盟理事の橋本秀雄さん(76)が、太平洋戦争で戦死した男性の遺品の日章旗が米国の博物館で見つかり、23年7月に養老町に住む男性の長男に返還された事例に携わった体験を報告。同校OBの所功京都産業大名誉教授が「日本武尊と白鳥神社の謎解き」と題して講話する。

橋本さんは「稲川先生の教えを受け継ぎ、次世代に向けて大戦について考える機会にしたい」と話す。

(成田はな)

日時 令和六年三月十七日
場所 大垣市サイトピアセンター学習館
かがやき活動室6-1

↑ 三月十六日付
中日新聞

← 三月十八日付
岐阜新聞

西濃と「英雄」関係紹介

大垣北高OBら 歴史愛好家団体 汗青会が講演会

大垣北高校のOBらでつくる歴史愛好家団体「汗青会」の公開セミナーが17日、大垣市室本町のサイトピアセンターで開かれ、約20人が古代史などへの理解を深

めた。
同会は、同校の社会科学教

諭だった故稲川誠一氏が開いた。稲川氏没後も、卒業生有志が集まってセミナーを開催して歴史観を学んできた。セミナーは2011年から一般公開され、今回で13回目。

会場では、所功京都産業大名誉教授が、古代史上の英雄ヤマトタケルノミコトと西濃地域との関わりについて講演。ヤマトタケルノミコトが白鳥神社(池田町白鳥)に訪れたとされることを紹介し「4世紀前半には美濃が、大和王権を支える有力な存在だったと考えられる」と述べた。

(沢野有輝)



講演を行う所功京都産業大名誉教授＝大垣市室本町、サイトピアセンター